

社説

全国の観光地からプロポーズにふさわしいロマンチックな場所としてNPO法人地域活性化支援センター（静岡市）が選定し、若いカップルや女性の人気スポットになっている「恋人の聖地」。その一つとして新たに、村山市の東沢バラ公園が認定された。県内では上山市の花咲山展望台に次いで2カ所目。

「恋人の聖地」プロジェクトは、恋愛、プロポーズ、結婚などをコンセプトに地域の新たな魅力づくりや情報発信を図ろうと2006年に始動した。申請があった観光地から年4回の選定会で「聖地」を選び、これまでに130カ所以上を認定している。今月下旬の選定会で東沢バラ公園など3カ所が追加された。

東沢バラ公園は、日本有数の規模を誇り、東京ドーム3個分に当たる約7畝の敷地におよそ750品種、2万株が植え

東沢バラ公園「恋人の聖地」

られている。最盛期は一帯がバラの甘い香りに包まれ、環境省の「かおり風景100選」にも選ばれた。「むらやま徳内まつり」「そば」などとともに同市の三大観光資源に位置づけられている。

「求愛」「永遠の愛」などロマンチックな花言葉が多いことで知られるバラ。女性やカップルを引きつける観光素材と

若者や女性の誘客促進

してのポテンシャル（潜在力）は高いとみられている。「聖地」への認定は、新たな来訪客層を開拓する好機といえる。

関連イベントの開催や「聖地」同士の連携などを通じて、北村山地域や本県観光の魅力アップへ弾みにしたい。

認定を受け、村山市は初夏と秋に開催しているバラまつり期間中、未婚カップルや夫婦を対象にした参加型イベントの開催を検討。男性がバラ、女性はウイスキーを相手に贈る「バラランタインデー」も昨年に引き続き企画し誘客促進を図る。ほかに、「聖地」同士の交流や、縁結びスポットとして女性に人気の若松寺（天童市）などと連携した観光ルートづくり、「婚活」支援事業とのタイアッ

プといった、さまざまな誘客策が考えられるだろう。

2010年に認定を受けた上山市の花咲山展望台は、市街や蔵王連峰の山並みが一望できる眺望スポット。「聖地」として認知度が高まってからは多くのカップルが訪れるようになり、翌年夏には結婚式も行われた。上山市観光課によると、

来訪者の増加という実質効果に加え、観光地としてイメージアップにも結びついているという。同市は「聖地」にふさわしい環境整備を進める一方、上山城や足湯などを巡って花咲山展望台に向かうデパートプランを設定し、市内の観光資源の売り込みにも力を入れている。地元かみやま温泉の旅館はカップル向け宿泊プランの検討も始めている。

「恋人の聖地」には、北海道帯広市の旧国鉄広尾線「愛国駅・幸福駅」や、引き潮の間だけ現れる小豆島の「エンジェルロード」（香川県土庄町）といった人気観光地が名を連ねる。熊本県美里町の「ハートが出来る石橋」は、橋のアーチが冬期間だけハート型に水面に映ること知られ、多くの観光客が足を運んでいる。若年層は旅離れが進んでいるといわれるが、こうした人気スポットとも連携を図り、魅力を高めながら新たな観光需要を掘り起こしていきたい。